

# 複数披露宴化の提案



## Summary

本提案は、「コミュニティの多文化」というキーワードから生まれました。コミュニティとは、「同じ共通点を持った人間の集まり(=同士・同志)」「共同体」「目的を共有している仲間」のことです。SNSやスマートフォンの普及などにより、“ほしい情報を相手とお互いに簡単に送り合える”、そんなやりとりの手段が当たり前の環境の中に、私たちは育ってきました。LINEで親しい人とやりとりをし、facebookで知人の近況をまんべんなくチェック、Twitterでは見ず知らずの人とさえやりとりを行う。相手との関係やその時の目的に応じてSNSを使い分け、自分たちがより過ごしやすい環境(コミュニティ)をどんどん増やしていく。集まるからこそ顕著になる「友人」・「仲間」という確かな存在感は、現代の若者の生活の充実感に大きな影響を与えています。そんなコミュニティへの価値観をもつ私たち若者が、5年後に挙げたい結婚式とは一体どんなものなのでしょうか。「コミュニティの多分化」という切り口から生まれる新しい結婚式の形の提案です。

## Flow

### 1. 背景

私たち世代とコミュニティ意識

近年のSNSに見られる傾向について

若者のコミュニティとの関わり方について

結婚式を挙げる理由について

結婚式に関する不満点

若者の結婚式を挙げる傾向について

### 2. 提案

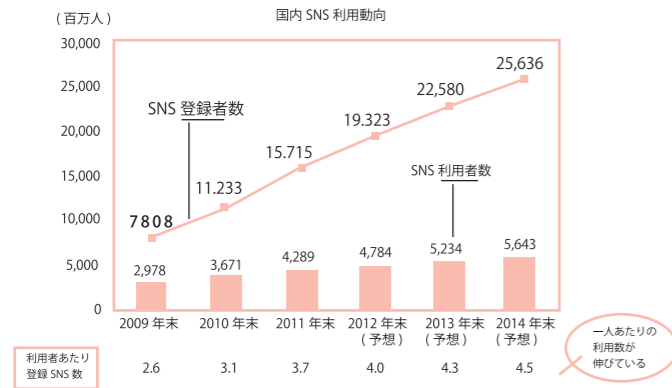
mini wedding

## 1. 私たち世代とコミュニティ意識

### ≫ 複数の SNS を利用、SNS によって異なるコミュニティ

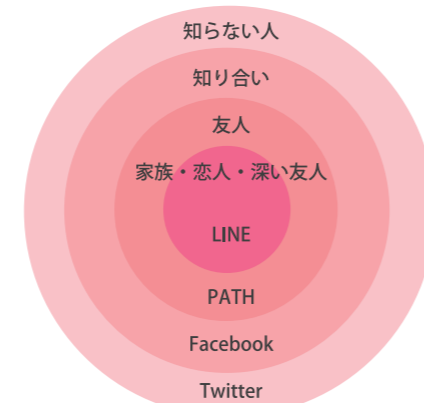
#### SNS 利用行動の変化

国内における SNS 利用者数は今後も増加が見込まれている。また、それ以上にユーザーあたりの登録 SNS 数も増加し、一人が 4 つ程度の SNS を利用するとみられている。



SNS 利用行動の変化 2012 : ICT 総研

一人あたりの登録 SNS 数は平均 4.5 個

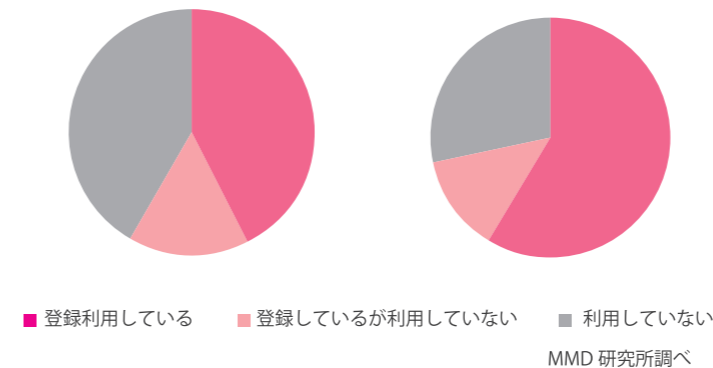


[http://mmd.up-date.ne.jp/news/detail.php?news\\_id=1121](http://mmd.up-date.ne.jp/news/detail.php?news_id=1121)

### ≫ 友人とのグループでの深いつながりを求める

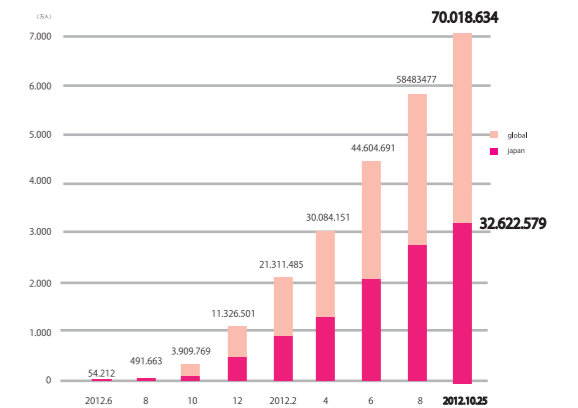
#### 約半数がグループチャットサービス利用

グループチャットサービスの登録率  
(左グラフ:2012年2月調査、右グラフ:2012年9月調査)



国内での LINE 登録ユーザー数 3262 万 2579 人

2012 年に入ってから 2000 万人増加



LINE 登録ユーザー数の推移グラフ。NHN Japan 2012.10.25

### ≫ 現代の若者は友人関係を重視

若者たちにとっての「友人」・「仲間」の存在感

1990 年以降顕著になり、2010 年には 15 歳～29 歳の若者の 60.4% が「幸福度を判断する際、重視するのは“友人関係”」と回答。この数値は、他の世代と比べて突出して高い。(国民生活選好度調査 2010) 1970 年に「友人や仲間といるとき」に充実感を抱くのは 38.8% だったが、1980 年には 58.8%、1990 年に 64.1%、1998 年以降は 74% 前後で安定。この数値は国際的にみても高い数値となっている。

(第 8 回世界青年意識調査 2009)

### ≫ コミュニティを小分けしたがる私たち世代

私たちは実際、SNS 上にどれだけのコミュニティをもっているのか。

山内	吉治	松本
利用 SNS 数	利用 SNS 数	利用 SNS 数
6 つ	5 つ	4 つ
SNS 上コミュニティ数	SNS 上コミュニティ数	SNS 上コミュニティ数
56	25	7

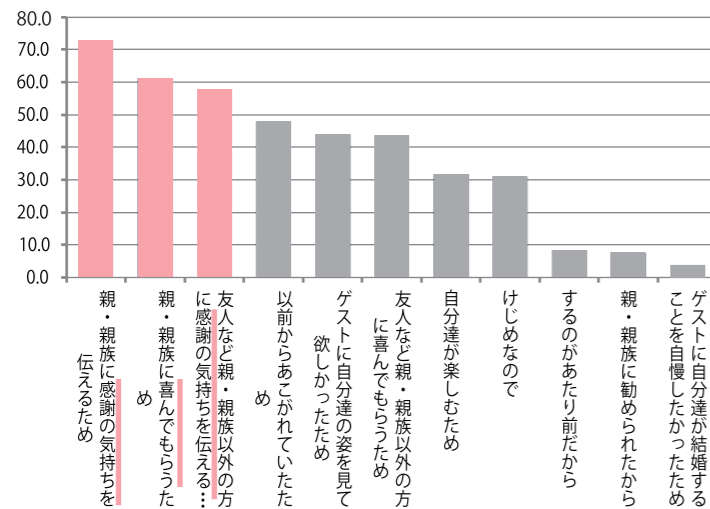
名前を付けて小分けする。

コミュニティ意識とはどういうことだろうか。ここでは、“人とつながりたい”という意識ではなく、そのつながりをコミュニティとして正当化したいという意識なのではないかと考えられる。名前をつけることによって、その緩やかなつながりをまとめる、その行為を好む傾向はありそうである。私たちのコミュニティ意識というのは、友人関係を自身の目的に応じて小分けにしていくというイメージに近いように感じる。そしてその小分けされたコミュニティごとに、自身のキャラクターやポジションを変えていくのである。

## 2. 結婚式へのニーズ・問題点

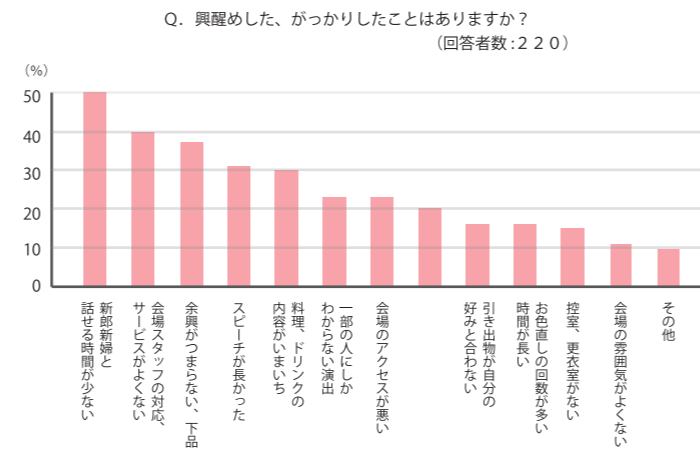
### 》 目的が混在する結婚式

結婚式を挙げる理由について



### 》 求められているのは新郎新婦との距離感

結婚式に関する不満点



データ出典 / 「ゼクシィnet・男のゼクシィnet」ユーザーアンケート・出席した結婚式  
調査期間 2008/11/21 ~ 1/22 回答数 233人 (男性 10人・女性 223人)

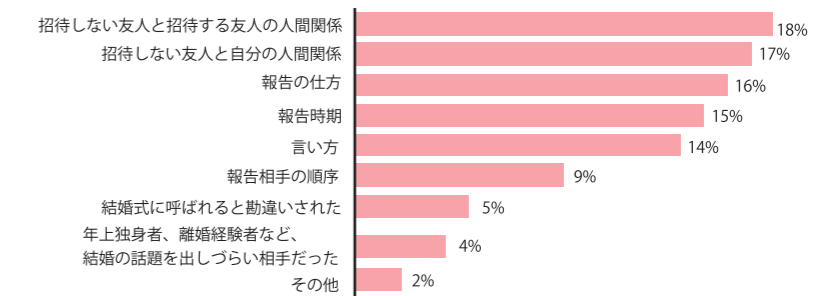
新郎新婦と近いことが求められている

### 》 招待への配慮はより複雑に…！？

結婚式と友人関係

心配したのはその後の人間関係

Q. 結婚式に招待しない友人への結婚報告で困ったこと・心配したことは？ (回答数:153)



呼ぶ人、呼ばない人の人間関係について心配

コミュニティが増加した私たち世代、より問題になるのでは

### 1. 私たち世代とコミュニティ

SNS等の発達により人間関係が拡がり、それをコミュニティとして分ける意識も強くなった私たち世代



コミュニティごとで行う  
複数回披露宴化が進むと予想

### 2. 結婚式へのニーズ・問題点

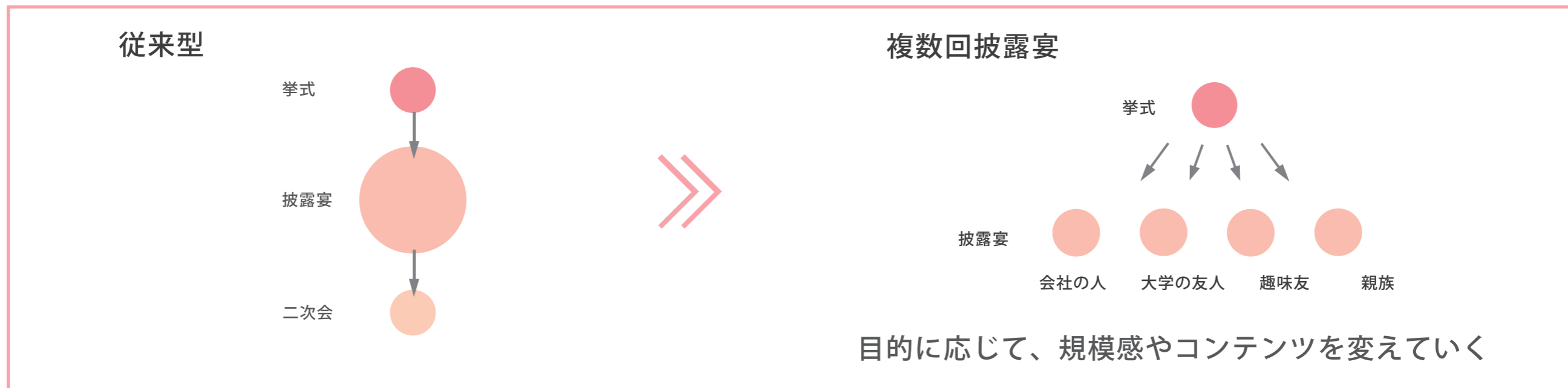
目的が混在する結婚式の中で、本当に伝えたい想いは届けられているのか



コミュニティごとに分けた披露宴を行うことで、コミュニティの特徴や特性に合わせた披露宴を行うことができる。参加者に合わせた企画やコンテンツを行うことができるため、感謝の気持ちを伝えたり、より新郎新婦に近い披露宴を挙げるができる。

## 妥当性とニーズについて

### 複数回披露宴化とは



#### ■ 概要

従来の結婚式の形式は主に「挙式→披露宴→二次会」これらを1日で行うものでした。親族・会社関係・友人と結婚式に招待する人は様々。しかしそれぞれに対して伝えたい想いや気持ちは実は異なっているのではないのでしょうか。もしそうだとすれば、今の結婚式の形はそういった伝えたいものが一緒くたになってしまっています。だからこそ今回提案する『複数回披露宴』では、コミュニティごとに披露宴の場を設け、目的に応じた規模感やコンテンツを展開します。

例えば親族には今までの感謝を伝える場を、会社関係にはこれからもよろしくお願ひしますとご報告、中学校時代の懐かしい友人とは思い出に浸り、大学時代の友人とは楽しく盛り上がる場を、そんなコミュニティへの意識の高い世代に適した新しい形の提案です。

#### ■ メリット

- コミュニティに応じた目的のもとプランがたてられる
- 規模が小さくなる分、参加者と新郎新婦の距離は近づく
- コミュニティごとのたち振る舞いが明確になる（社会人関係の時はピシッと、友人関係の時にはラフに）
- 招待する人しない人の人間関係への配慮が軽減される

#### ■ デメリット

- 複数回行うことにより費用が大きくなる
- 様々なコミュニティが集まる従来の披露宴のような場はなくなる！！
- 何度も同じコンテンツをしなければならない可能性がある（ケーキ入刀など）
- 回数が増えることで、選ばなければいけないことが増え、手間がかかる

## Background

### 【調査① “複数回披露宴” という概念に関するアンケート調査】

#### 調査概要

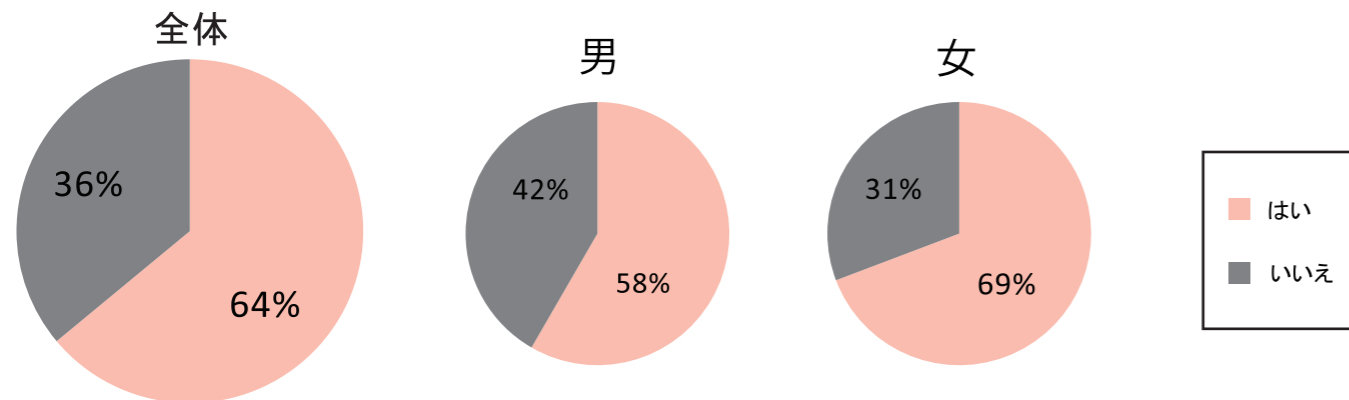
被験者に対して、複数回披露宴の説明を図を用いながら口頭で行ったうえで、用意した設問に答えてもらうという形式の調査を実施。

調査対象 大学生 (19 - 24 歳)

調査人数 25 人 (男 - 12 人 女 - 13 人)

調査日程 2012 年 11 月 5 日 - 11 月 10 日 (全 6 日間)

問 1、実際に自身が結婚する際に、このような形式でやってみたいと思いますか。



問 2、問 1 でそうお答えになった理由をお書きください。

#### はい

- ・伝えたいことはコミュニティごとに違うと思うし、その想いを一緒にしたくない
- ・コミュニティに合わせたキャラ・ノリ・呼び方がある
- ・自分たちのことを良く知ってくれているコミュニティとはより深いものをつくりたい
- ・職場と友人を混ぜたくない
- ・自分たちにしかない凝った演出やプログラムができそう
- ・一生に一回のオリジナリティにあふれたい思い出が作れそう
- ・今まで築いた友情を取捨選択したくないしみんなとやりたい

#### いいえ

- ・準備の手間がかかりそう
- ・複数回する分、費用は 2 倍にも 3 倍にもなっていくのでは
- ・結婚式のイメージが完成されてしまっているから、この概念のイメージ想像できない
- ・毎回ドレス着るのなら大変そうだし、嫌だ
- ・気を使うイベントが増える→ただでさえ疲れそうなのにもっと疲れそう
- ・ステキな形式だけれど、自分がやりたいとは思わない
- ・友達やコミュニティがそんなにいない

問 3、複数回披露宴について、良い点・悪い点を思いつくだけお書きください。(ここでは悪い点のみ掲載)

#### はい (問 1 で「はい」と回答)

- ・費用がどれだけ大きくなるのか
- ・コミュニティごとに日程を合わせるのが大変そう
- ・誰がプランを組み立てていくのか
- ・式場をそんなに長い間貸し切ることができるのか
- ・相手側しか関わっていないコミュニティについて行くのは気が重い

#### いいえ (問 1 で「いいえ」と回答)

- ・費用がどれだけ大きくなるのか
- ・準備の手間が大きくなりそう
- ・何回も同じことをするのであればあまり魅力を感じない
- ・家族の話を聞きたい人もいる
- ・コミュニティを細かく分けてしまうと面倒臭そう
- ・いろんなところに属してしまいます人はどうするのか

複数回披露宴という概念に肯定的な意見をもつ人は、6 割ほどいるのではないかと。賛成・反対どちらにしても、この概念に関する費用・手間・時間についての疑問や不満が多くあがった。

### 【調査② 親（ハナコ世代）へのヒアリング調査】

#### 調査概要

形式 両親へのヒアリング調査

調査対象 松本・吉治・山内の両親 (48-53 歳)

調査人数 6 人

問 1、息子・娘にはどんな結婚式を挙げてほしいですか。また自分はどれだけその結婚式に関与したいですか。

- ・形式ばったものよりも、招待されている人が楽しめるものが良い。
- ・娘の花嫁姿がみれば、それで充分。
- ・自分たち両親も結婚式に招待してもらいたい。
- ・特に何かしてほしいとは思わない。自分たちの好きにしてくれるのが一番良い。
- ・お客さんを迎える立場である自分たちが、結婚式や披露宴に出たいとは思わない。
- ・二人の晴れ舞台なので、二人のつくりたいものをつくってもらいたい。
- ・あまり親のことは気にしないでいい。二人の姿を見られるだけで、親は十分に満足。
- ・でも親もちょっとは口出ししたい。

問 2、複数回披露宴についての意見・感想をおしえてください。

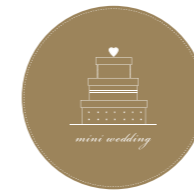
- ・あまり万人受けするようなものではないと思うけど、やりたい人はいると思う。自分たちがやりたいものならそれでよし！
- ・過去に参加した友人の披露宴で 2 部制 (第 1 部:親族・会社関係、第 2 部:新郎新婦の友人関係) のものがあった。第 2 部の方に参加したが、参加者の年齢が近いこともあり、今まで参加した披露宴に比べ、会場全体が和やかで盛り上がっていた。だからこういう考えがあっても全然いいと思う。
- ・どんな風になるのか想像できないので何とも言えないけど、自分たちのオリジナリティが増すことはいいことなのでは。
- ・心配なのは、費用。同じ会場を使うのか、別会場を使うのか、でかなり異なってくるし、何回するものなのかも疑問。
- ・参加する人がめんどろだったり、お金がかかってしまうのであればやめた方がいいと思う。

#### 調査①より

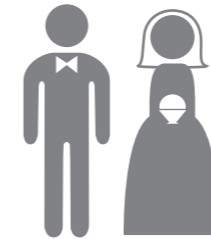
母数が少ないため断定はできないが、複数回披露宴という概念に肯定的な意見をもつ人が 6 割ほどいることが分かった。賛成・反対派どちらにしても、この概念に関する費用・手間・時間についての疑問や不安が多くあがる結果に。見方を変えれば、これらの大きな不安を削減することができれば、複数回披露宴という概念を受け入れてくれる層は大きく広がるのでは。

#### 調査②より

「結婚式は、「新郎新婦のため」にするものだ」41.5% 親世代に多い。(プライダル総研 2012) にもあるように、親世代は「子どもたちには自分たちがつくりたいものをつくってほしい」と望んでいる傾向がみられた。2 部制披露宴の事例も含め、複数回披露宴に対して否定的ではないよう。ハナコ親子は互いの消費を尊重し合う (伊藤忠ファッションデザインシステム(株) 2011) というのもどことなく感じる。しかし親が口をそろえて言うのは、やはり「費用」の問題。複数回披露宴には「費用」問題が一番のネックとなりそうである。



## mini wedding



せっかくの結婚式なんだから、もっと楽しんでほしい。感謝を伝えたい。でも人によって楽しめるコンテンツが違う。…じゃあコミュニティごとに分けて披露宴を行おう！



コミュニティに分けた披露宴が今後増えると予想

挙式

披露宴 1

披露宴 2

披露宴 3

披露宴 4



コミュニティごとで、  
もっと楽しめる披露宴を

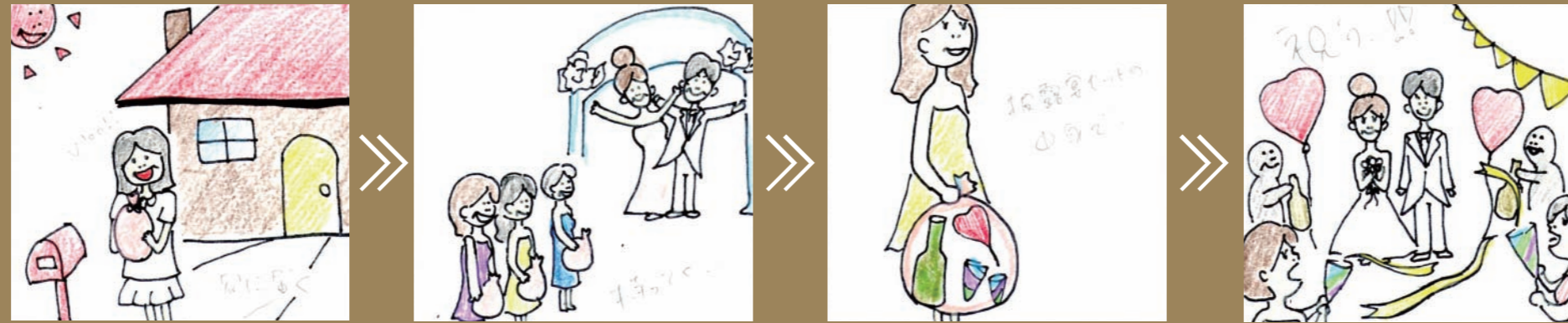


### 「これさえあれば、いつでも、どこでも、誰とでも披露宴ができる」

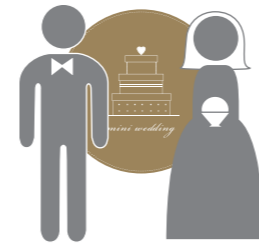
mini wedding は、「これさえあれば、いつでも、どこでも、誰とでも披露宴できる！！」そんなことを叶えるための披露宴セットを使ったプランニングサービスです。厳かな会場をセットして、呼びたい人を必死に選別し、きれいに整った場を提供する、これからの披露宴の形はそれだけでなくもいいのではないのでしょうか。

mini wedding では、好きなコミュニティごとに小さな披露宴をたくさん行うことをお勧めします。親族を集めてこれまでの感謝の気持ちをしっかりと伝える場を設けたり、同級生を集めて思い出に浸ったり、大学の仲間たちとバカ騒ぎをしたり。呼びたい人、そしてその人たちとどんな空間をつくりたいか。披露宴を目的に応じて分割し、コミュニティごとに楽しめる様なコンテンツを盛り込んでいきます。また披露宴を分割することによるコストと手間を、披露宴を最低限な設備やコンテンツに絞り、もっとカジュアルなものとする事で解決します。そうすることで、小規模だけれど、参加者と本当にやりたいことのできる、伝えたいことの伝えられる、一生の思い出に残る最高の結婚式が実現できると考えています。5年後の私たち世代に向けた、こんな新しい結婚式の形はいかがでしょうか。

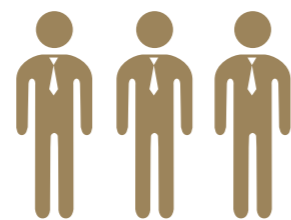
How to use..



届いたプレゼントの中身で結婚式が完成します。披露宴に行く人も披露宴に「参加できる」披露宴を提案します。



コミュニティごとで披露宴をもっと楽しく、二人の気持ちを伝えるものに



机、食器、ケーキなどお手伝いさん



もっと楽しくするプレゼント



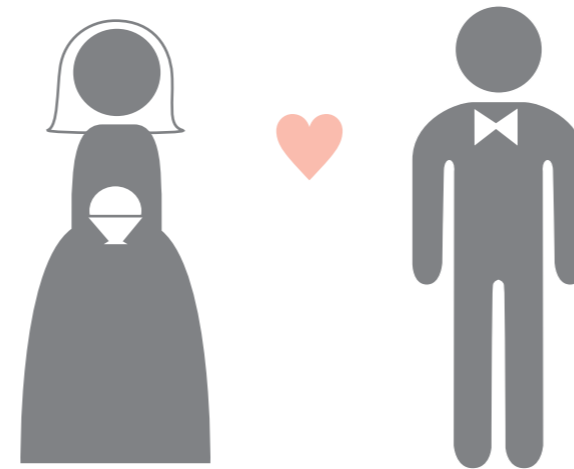
披露宴プランのアシスト

## ペルソナ

## Aさん

「いいわね、それだったらみんな楽しめそう」

26歳 プロダクトデザイナー 5年目  
 高校時代から音楽に関わっていたため、バンドやサークルでのコミュニティに多く参加している。  
 Yさんと付き合っているため、外にでる機会が増えた。  
 今ではアウトドアが趣味。  
 性格は温厚で友達を大事にしている。みんなで楽しめることを企画し、行うのが好き。



大学で出会い、交際6年目

## Yくん

「いいね。それすごく楽しそう。やってみようよ。」

28歳 広告代理店勤務 5年目  
 アウトドアが趣味。休日には、Aさんや趣味友たちとキャンプへいたり、アウトドアレジャーを楽しむ。  
 友好関係は広く、さまざまな場所でコミュニティに参加している。  
 性格はアクティブで積極的。また新しいものが好きで流行には敏感。

## 属しているコミュニティ（仮定）





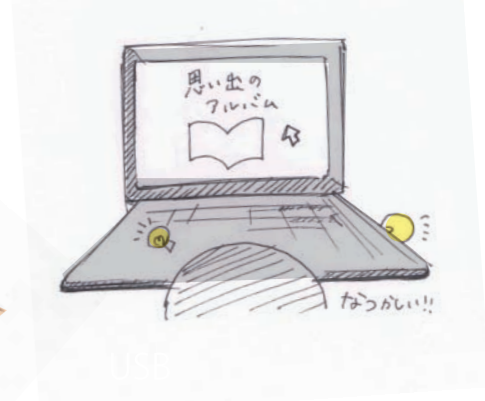
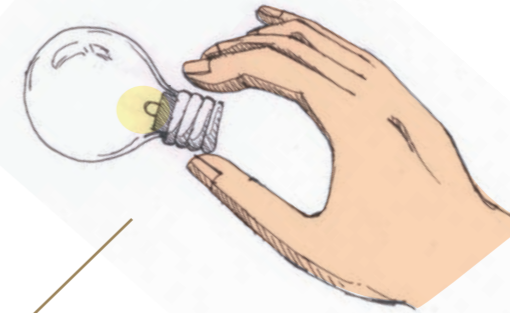
## シャボン玉・クラッカー

シャボン玉・クラッカーで式当日を盛り上げます。BOXに入れてあることで参加者は行く前から式に対して期待感が増し、想像をかきたてる。また当日みんなで行うことによって会場の人々の一体感が増します。



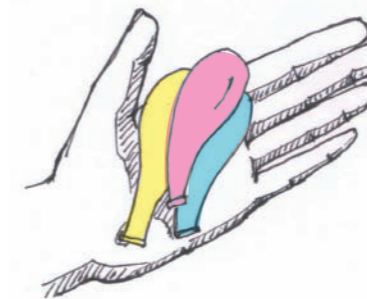
## 思い出 USB

思い出の音楽・ムービー・曲などが入った USB。行く前に見ることで、旧友たちを思いだし、久しぶりに会う友達との話のタネになる。



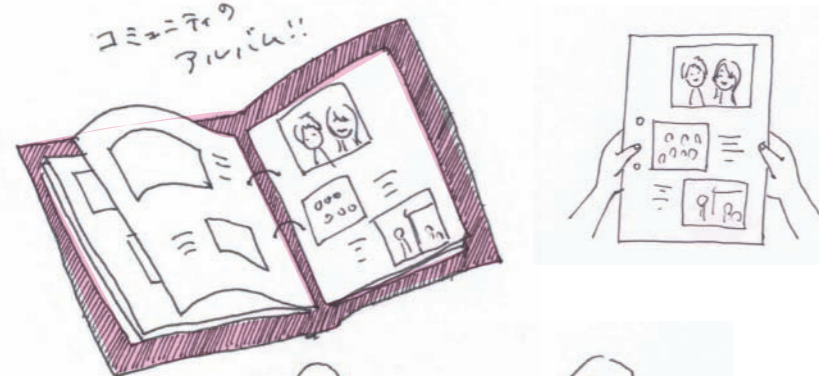
## メッセージバルーン

飾り付け用の風船が入っている。当日参加者は自由に会場に飾り付けができる。みんなで楽しみながら一つのパーティを盛り上げる。



## みんなでアルバム

一人一ページを担当して思い出アルバムを作る。当日みんなで一冊のアルバムとし、見せ合って思い出に浸る。



## もっと楽しくするプレゼント

## SNS ページ

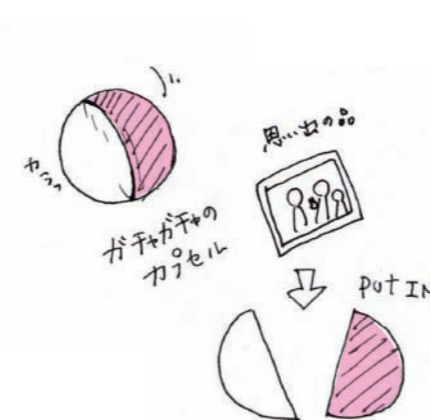
SNSを利用して、卒業アルバムのようにコミュニティメンバーの昔と今の写真が見れる。またメッセージのやり取りも可能。



卒業アルバムのようにコミュニティメンバーの写真が見れる。おねごもコメントを書きこめろ。

## 思い出ガチャポン

中身を参加者が選んで入れていくガチャポン。一人ひとりが思うコミュニティでの思い出の品が出てくるガチャポンです。



披露宴だけでなく、披露宴前でもコミュニティを感じながら楽しめるプレゼントを事前に贈る

結婚式のタイムライン

1day

AM10:00-

挙式

12:00-

披露宴①  
親族

14:00-

披露宴②  
会社  
親

2day

AM11:00-

披露宴③  
趣味友

17:00-

披露宴④  
軽音

3day

15:00-

披露宴⑥  
大学友人

Image



## 披露宴① 親族



一人ずつに感謝の手紙



会場にいる一人ひとりと会話

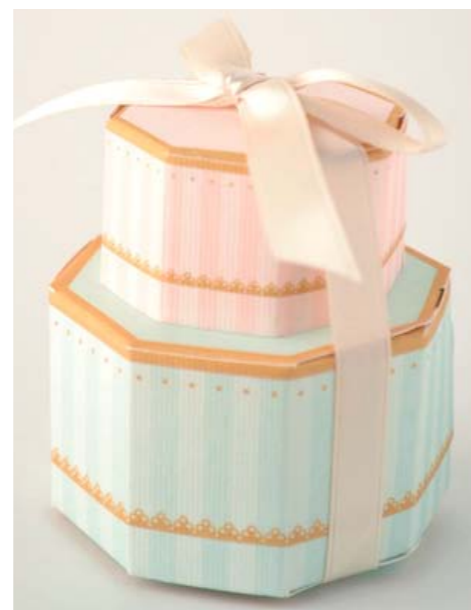
一番に感謝の気持ちを伝えたい人、それが家族であり、親族であると思います。結婚式を挙げる理由の上位は「親・親族に感謝の気持ちを伝えるため、喜んでもらうため」でした。そんな大切にしたい両家親族との披露宴は、立派な会場を貸し切った派手なモノではなく、レストランでおいしい料理を食べながらしつぽりと濃い時間を過ごしたいものです。両家への感謝と新しい家族への挨拶、一人一人との時間を大切にできるような空間を提案します。

成長の記録

感謝の手紙

引き出物

家族のアルバム



## 披露宴② 趣味友（アウトドア仲間）



みんなで飾り付け



みんなでわいわいバーベキュー

趣味を通して知り合った友人たちとの披露宴パーティー。プライベートな時間をともにしている大事な存在である彼らとは、感謝よりも結婚報告とこれからもよろしく宣言を、そしてわいわい盛り上がりたいところです。アウトドアが趣味な二人ならではの、公園でのアウトドアウエディング。みんなでの式場の飾りつけから始まり、ピクニック感覚でごちそうを持ち寄って集まります。シャンパンとグラスに「乾杯！」があれば、そこは二人を祝う披露宴会場になります。

レジャーシート

てるてる坊主

シャボン玉

飾り付け

ミニシャンパン・  
グラス(プラスチック)  
紙皿

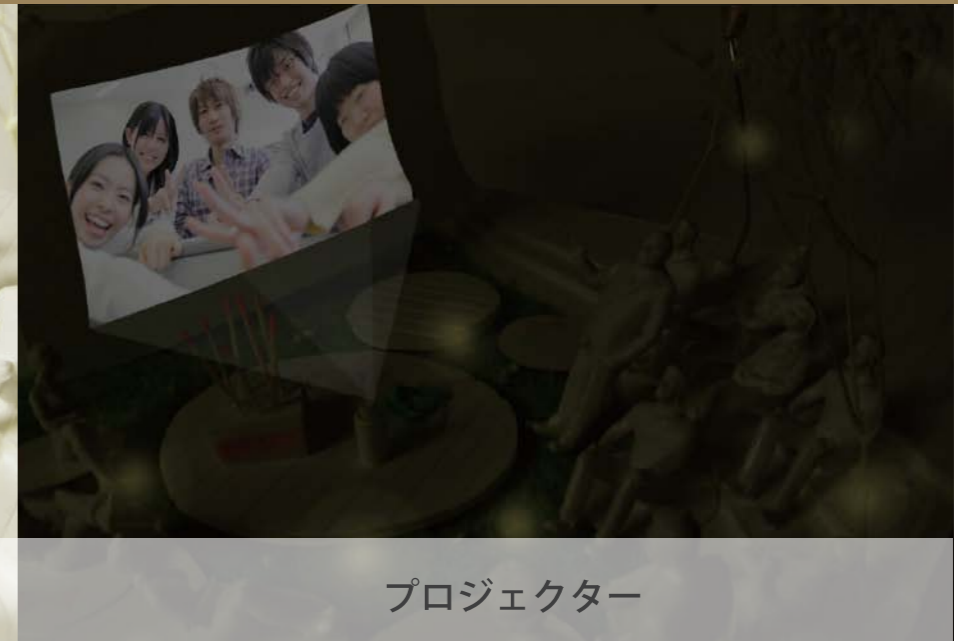
## 披露宴⑥ 大学からの友人（共通コミュニティ）



入場



一人ずつお祝いコメント



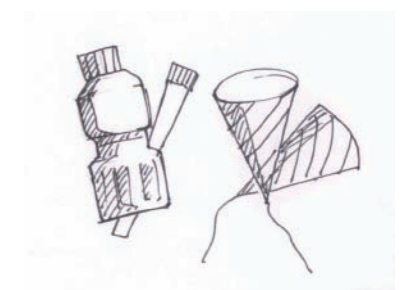
プロジェクター

大学時代からの仲間たちとは、結婚報告はもちろん、同窓会のように昔を懐かしみながら盛り上がることのできる場を。場所はもちろん、みんなで昔集まっていた大学構内のウッドデッキ。昔話に花を咲かせ、陽が落ちれば膜を張って懐かしの映像を鑑賞。お祝いと同時に、大学時代のつながりを改めて実感し合う、そんな場にします。祝う人がいる、祝われる人がいる、みんなで祝う。それだけでも充分二人のための披露宴になるのではないでしょうか。

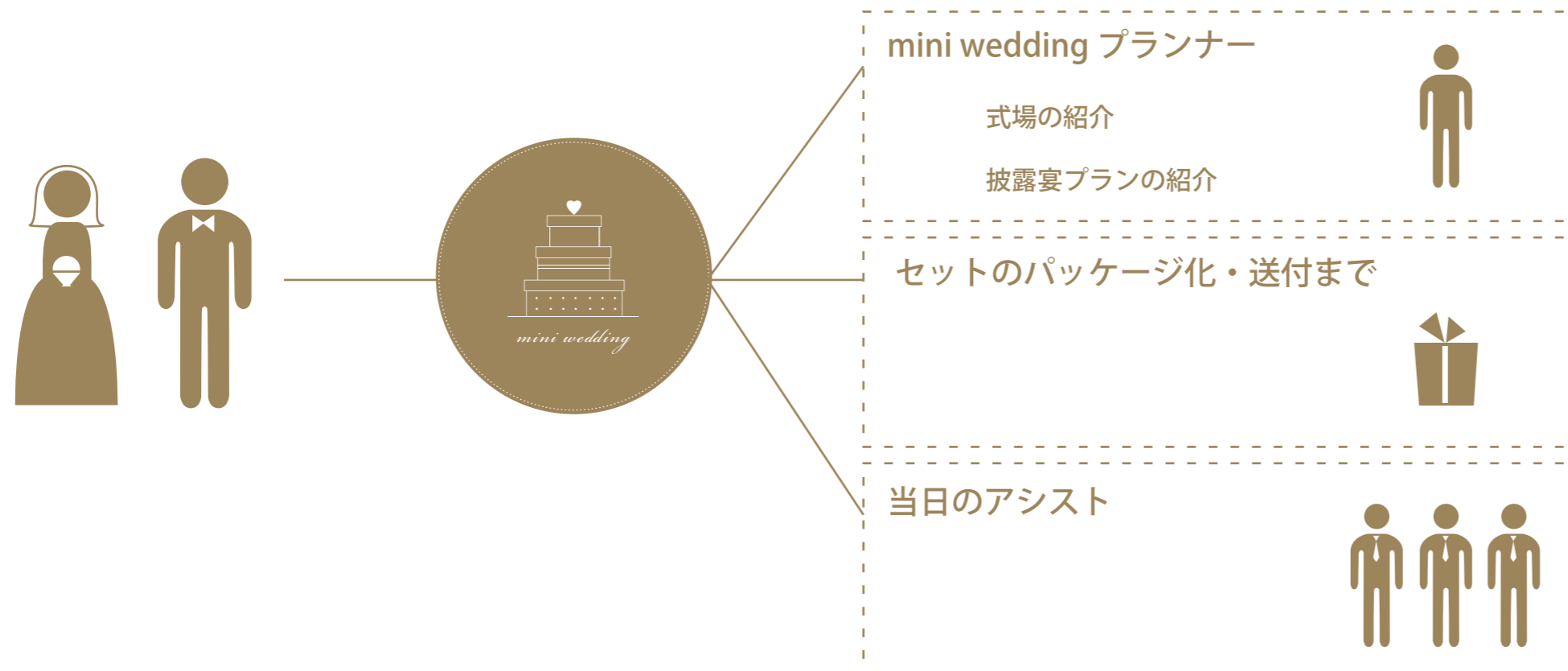
紙皿・マグカップ

思い出 USB

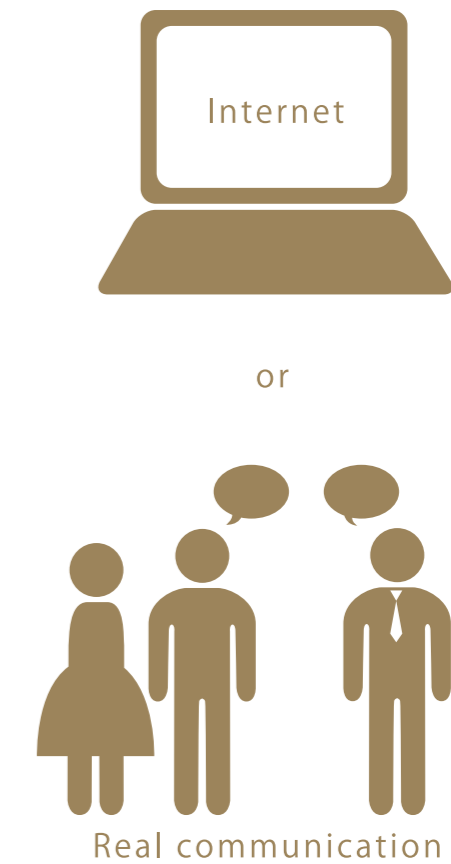
クラッカー、キャンドル



## About [ mini wedding (= 披露宴セットをつかったプランニングサービス) ]



## How to use



ミニウエディングサービスは、プラン・セットのパッケージ化・当日のアシストという大きく分けて3つのサービスからなっています。これら3つは選択できるため、BOXだけの注文や、プランナーだけの利用など、サービス利用者は選択することができます。

インターネット上での注文や、ミニウエディングをする際の相談はプランナーを通して直接話すこともできます。

## Others

小規模な会場の  
需要が増加

引き出物などを  
コミュニティごとに  
変えるニーズ増加

披露宴一回当たりの  
金額は減少

披露宴に対して  
多様なニーズになる

披露宴一回当たりの  
平均参加者は減少

コミュニティごとに披露宴を分けるという人が増えた場合に考えられるその他の事象として、1回あたりの参加人数減少における小規模会場の需要増加や、披露宴のさらなる多様化などが考えられます。これらの事象は今後5年間で増加すると考えられます。